

研究だより

入新井第五小学校
研究推進委員会
R4年9月30日(木)
第5号

1年 学級会 「運動会のめあて」をたてました。



9月21日(水)第5回となる校内での研究授業を行いました。題材は、「うんどうかい みんなでパワーアップ大きくせん!」です。10月15日に実施する表現運動発表会は、1学期のスポーツ競技大会とは異なり、表現運動と短距離走を行います。表現運動に勝ち負けはありません。授業を通して、本番を成功させるための自分の役割について考えました。また、他者と協力して活動することの大切さについても学びました。子どもたちは本番を成功させるために、これから始まる練習に向けて、自分ががんばること(めあて)を決めました。

【導入(課題の把握)】

1年生にとっては初めての表現運動なので、イメージをもたせるために、昨年度の1年生が発表をしている本番の映像を流しました。その後、2年生10名が実際に目の前で踊りを披露し、1年生から出た質問に丁寧に答えてくれました。2年生からは、練習で大変だったことや、どのようなことに気を付けてみんなで練習をしてきたか、などの話を聞くことができ、1年生は興味をもって真剣に話を聞いている様子でした。このように、実際の映像や演技を見ることで、表現運動発表会のイメージをもたせることができました。また、「自分もあんな風に上手に踊れるようになりたいな」と、自分事として捉えることができました。

【展開(原因の追究)】 ★練習中を想定した4つの場面絵★

練習中を想定した4つの場面絵「暑くて疲れている様子」「上手く踊れなくて泣く様子」「一人だけ上達して自慢する様子」「保護者が期待して見ている様子」を1枚ずつ見ながら、自分ならどんな行動をするのかを考えました。絵に描かれている子の立場に立って考えるだけでなく、周りにいる友達にも着目させる発問をすることで、児童は様々な立場で考える様子が見られました。「だいじょうぶ?と声を掛ける」「こうするといいよと教える」など、優しく温かい言葉が飛び交いました。

【展開(解決方法等の話し合い)】

4つの場面絵を通して友達の多様な考えを知った上で、自分ががんばること(めあて)を考え、がんばりカードに書きました。「みんなでたすけあって、さいごまでれんしゅうする」「ともだちがこまっていたらたすけてあげる」など、自分ががんばるだけでなく、友達のことを考えて書いている児童が多くいました。

【終末(個人目標の意思決定)】

全員で、校庭に見立てた模造紙に、がんばりカードを貼りました。全員のカードを貼ることで、友達のめあてを知ることができ、児童は本番への気持ちを高めていました。授業の最後には、全員で士気を高めるために教室の中央に集まり、「エイエイオー」と掛け声を掛け合いました。

学級活動(3)は「一人一人のキャリア形成と自己実現」に関わる活動です。キャリア形成とは「社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方をしていくための働きかけ、その連なりや積み重ね」です。本時の学級活動を通して、表現運動発表会という

行事に主体的にかかわり、自己を生かしたいという思いを育むとともに、めあてをもち、その実現に向けて練習を重ねて本番に臨もうとする態度を育みたいと考えました。





☆講話

- ・学級活動（１）は議題、学級活動（２）・（３）は資料が大切である。これらを吟味することにより、より児童が主体的に活動できるようになる。
- ・１年生という発達段階と学級の実態により、絵で９つくらいの解決策を示し、それに色を塗ることで意思決定を図る方法もある。

◎発達段階を考えると、本時の活動（場面絵・めあてを書く）は難しかったのではないと思われるが、自分のめあて書いて表現できていた。

◎１年生の発達段階を考慮していて良かった点

- ・昨年度の運動会のイメージをもたせるために、動画資料りを導入に取り入れたこと。
→１年生は運動会がどんなものかを知らないなので、運動会をイメージしてめあてをもつことが難しい。それを解消するための手立てとして、とても良かった。
- ・重要な資料を絵で示していた。（３年以上はグラフなどを使うことがある。）
→絵で示されることにより、グラフなどの数値化されたものより直感的に理解することができるため、１年生にとっては考える資料として適している。

◎各学習段階は、均等に割り振るのではなく、「みつける」に時間を割くべきである。今回の学習では、しっかりと「みつける」に時間が割かれていて児童の学びが深まった。

▲今回の題材名は「みんなでパワーアップ大作戦」という学級会の議題のようなものであった。

「気持ちの良いあいさつ」などの体言止めのようなものにし、指導内容と関連付けた文言にするのが良い。

授業者の宇都宮先生にインタビューしました！

１年生にとって初めての表現運動発表会に向けて、友達との関わりを意識しためあてを立てることができました。昨年度の表現の動画や２年生の演技、場面絵など様々な手立てをとり、児童が実際の場面を想像しやすいようにしました。児童は、友達との関わりに目を向けためあてを「がんばりカード」に書くことができました。各学級で完成した「がんばりカード」は廊下に掲示して、いつでもめあてを確認することができますようにしています。実際の練習でも、困っている友達がいると「こうやるといいよ。」と、自分から声をかける児童もいました。自分だけではなく、友達のことでも考えることができるような１年生になることを期待しています。

